

「仙台市経済成長戦略2023」の体系に基づく 令和5年度 仙台市経済局の主要な取り組み

「重点プロジェクト2」

ローカル経済を拡大する 「地消地産」の推進

中小企業の持続性向上・域内経済循環促進

※令和5年度組織改正により、産業振興課の一部は「スタートアップ支援課」「企業立地課」になります。
以下の各事業には令和5年度の課名を記載しています。

施策① 中小企業・小規模事業者の基礎体力向上

- 事業承継促進（再掲） 55
- 中小企業者金融支援事業 56

事業概要

全国的な課題となっている事業承継を促進するため、市内の事業承継を考えている経営者や後継者等を対象に、事業承継の必要性等を伝える啓発イベントや知識を醸成するセミナーを開催する。また、関係支援機関等との連携を図りながら事業承継の啓発、促進に取り組む。

事業の詳細

令和5年度実施事業

○各種セミナーの実施

事業承継を検討している経営者等を対象に「啓発」、「知識の醸成」、「発信」を行うために事業承継に関する各種セミナーを開催する。

【目標】

セミナー参加者数：延べ130名

○無料相談窓口

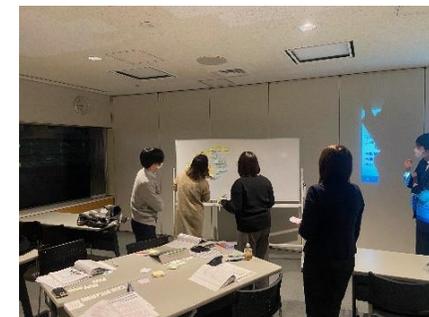
仙台市中小企業応援窓口（産業振興事業団内）や、事業承継・引継ぎ支援センターと連携して、事業承継に関する相談に幅広く対応する。

過年度実績

- (1) 事業承継セミナー
- (2) 後継者塾（全5回）
- (3) 第三者承継セミナー



啓発シンポジウム



後継者塾

事業概要

国の保証制度を活用した低利・固定・長期返済期間の融資制度を運用し、市及び宮城県信用保証協会が地域の中小企業者等の信用補完と貸倒れの際の金融機関の損失補償を行うことにより、円滑な資金調達を支援する。

事業の詳細

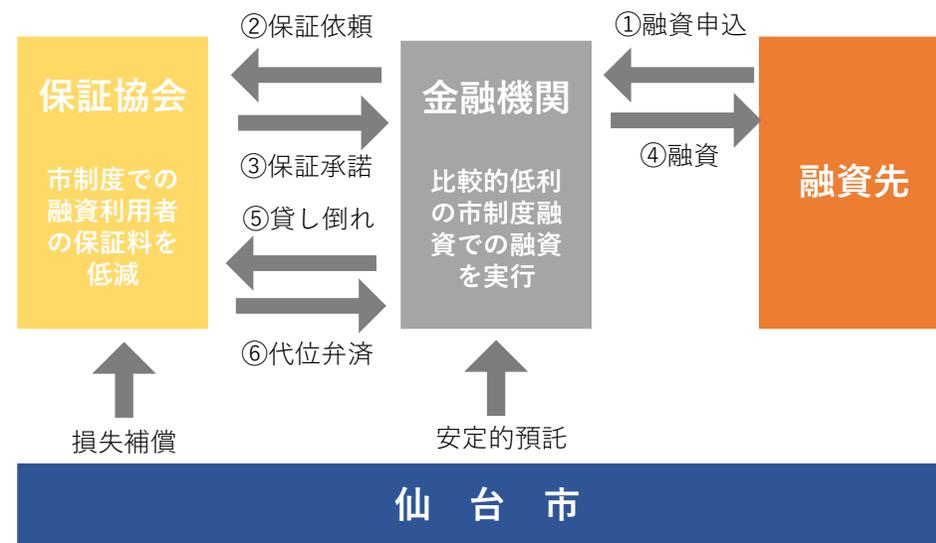
【対象者】

市内に事業所又は店舗を所有し事業を営んでいる中小企業者

【事業内容】

- 本市制度融資を取り扱う金融機関に対し、融資額に対応する額を預託金として預けることにより中小企業者への円滑な資金調達を促す。
- 借入金を返済出来なくなった中小企業者に代わり金融機関に弁済をした宮城県信用保証協会に対し、損失補償を行うことで、融資制度の実効性を確保する。

【スキーム】



施策② 労働生産性の向上

- IT活用推進事業（再掲）（一部）

58

事業概要

IT活用による地域の中小企業者のデジタル化を推進し、新たな市場の開拓や生産性向上などによる経営力強化に向けて、専門家による伴走支援やセミナー等を行う。また、「新しい生活様式」を踏まえた新たなビジネススタイルを支援するため、国家戦略特区に認定されている「仙台テレワークサポートデスク」を通じて、テレワーク導入を支援する。

事業の詳細

【支援内容】

啓発セミナー	身近な事例やツールの紹介を行うセミナーを開催し、ITを活用した業務のデジタル化を啓発する。
IT担当者研修	IT担当者として必要な知識・技術の習得を目指した研修を行うことで、社内のIT戦略を作成するなどIT化を率先して進められる人材を育成する。
テレワーク・デジタル化推進体験イベント	業務のデジタル化・テレワーク体験機会の提供やITツール販売企業による展示会等を開催する。
伴走型支援	啓発セミナーやIT担当者研修などを通じてIT化に前向きになった中小企業者に対して、業務課題の抽出・整理、各社に応じた経営戦略の構築、及び戦略に基づいたITツールの導入・運用について専門家がサポートを行なう。



【目標】

テレワークサポートデスク利用者数とイベント参加者数の合計: 500名
利用者満足度: 80%以上

【スキーム】

啓発セミナー

身近な活用事例やITツールの紹介

IT担当者研修

ITに関する知識の習得

デジタル化推進体験イベント

テレワーク体験機会の提供やITツール販売企業による展示会等

伴走型支援

自らIT化を進めていける企業へと成長

ITを活用した業務のデジタル化・既存のビジネススタイルからの脱却

施策③ 域内資金循環の拡大

- 新東北みやげコンテスト（再掲） 60
- 新商品・新サービス開発支援（再掲） 61

新東北みやげコンテスト

(事) 経営支援課 (中小企業支援課)

(連絡先: 022-724-1122)

令和5年度当初予算額: 4,570千円

基金

事業概要

東北の中小企業者が開発した地域産品を対象に、東北の新しいおみやげを発掘・表彰することで商品の付加価値向上を図るとともに、審査員であるバイヤーの持つ販路や媒体等のリソースを活用した売上向上支援を行う。

事業の詳細

【対象製品】

東北地域の中小企業者が開発した商品で、発売後概ね2年以内のもの

【事業内容】

- 一次審査により、エントリーのあった商品の中から、東北の新しいおみやげとしての魅力について総合的に審査し受賞商品を選定。
- 受賞商品の中から、商品PRやサンプルの試食等の審査を行い、最優秀賞、優秀賞、特別賞を選考。
- 12月下旬より、受賞商品の販売会を開催。

【目標】

マッチング件数: 130件



令和4年度販売会

経済成長戦略2023: 重点プロジェクト①「地域リーディング企業」を生み出す徹底的集中支援の推進、重点プロジェクト②ローカル経済循環を拡大する「地消地産」の推進、重点プロジェクト⑦仙台・東北のポテンシャルを高める基盤づくり

新商品・新サービス開発支援

(事) 経営支援課 (中小企業支援課)

(連絡先: 022-724-1122)

令和5年度当初予算額: 4,100千円

事業概要

コロナ禍を乗り越え、付加価値の高い新商品または新サービスの開発を行おうとする事業者を対象に、マーケッターやデザイナーなど複数の専門家によるチーム支援を実施するもの。

事業の詳細

【支援対象】

- 市内の中小企業、小規模事業者等

【支援内容】

- リサーチ・デザイン費等の支援
リサーチ費、デザイン費、撮影費、食品分析費、弁理士費用など外部専門家等に支払う委託費を最大80万円事業団が支援する
- 支援チームによる支援
仙台市産業振興事業団のビジネス開発ディレクターをはじめ、各企業に合わせた支援チームを編成する。
- リサーチからプロモーションまでの一貫した支援フロー
商品開発に必要なリサーチから、企画検討、マーケティング、プロモーション等を、一貫した流れで支援する。

【目標】

新商品/新サービスの開発件数: 合計5件



施策④ 商店街の活性化

- 頑張る商店街応援事業（再掲） 63
- アーケード大規模改修事業 64
- 商店街交流促進事業 65
- 商店街集客力向上事業 66
- 中心部商店街活性化促進事業（再掲） 67
- 組合等活性化研究事業 68

事業概要

商店街の一体感の形成や商店街への来街者の増加、地域内の交流促進や他地域からの交流人口の拡大を図るため、賑わい創出等につながるイベント事業や、イメージ創出を図る取り組み、個店・地域資源の魅力を発信する取り組み等を行う意欲ある商店街を支援します。

事業の詳細

【対象者】

- 商店街振興組合
- 地域商業振興を目的とする事業協同組合
- 規約等で代表者の定めがある任意の商店会
- 地域商業振興を目的とする一般社団法人

※10名以上が近接して事業を営んでおり、主に小売業、サービス業又は飲食業で構成されていること

【対象事業及び助成率等】

商店街イベント助成事業	【通常枠】 対象事業：商店街が実施する賑わい創出等につながるイベント 助成額：助成対象経費の1/4以内、上限25万円
	【特別枠】 対象事業：商店街が実施する、売上向上、来街者増加など自らの課題解決につながる新たな取り組みを加えたイベント 助成額：助成対象経費の2/3以内、上限100万円（※） ※複数商店街が連携する場合、団体数に応じて以下の金額を加算。 2団体：30万円（計130万円）、3団体以上：60万円（計160万円）
商店街魅力向上支援事業	対象事業：商店街マップ作成、スマートフォン向けWEBサイト構築、ホームページ新設・更新、フラッグ・のぼり・看板作成等 助成率等：助成対象経費の2/3以内、上限50万円

【目標】

支援対象団体へのアンケートにおける「商店街活性化に資する」旨の回答割合：9割以上

【スキーム】



商店街イベント助成事業活用例
(原町商店街ハロウィン2022)



商店街魅力向上支援事業活用例
(ぶらんどーむ文化祭「一番町 仙台はじめて物語」WEBコンテンツ事業)

アーケード大規模改修事業

商業・雇用支援課

(連絡先：022-214-1004)

令和5年度当初予算額：74,800千円

事業概要

安全で快適な都市機能の維持・向上と景観の保全を図り、施設の老朽化による集客力の低下を防ぐため、商店街がアーケードの大規模改修事業を行う費用を助成する。

事業の詳細

【事業内容】

- サンモール一番町商店街振興組合が実施する改修事業に対し補助金を交付する。
- 主な改修内容：庇屋根・屋根上鉄骨部の改修・塗装、入口・サブゲートの改修、電気・照明（LED化）・消防設備更新、横断幕用吊りボタン新設等
- 令和5年8月着工、令和6年2月竣工予定

【目標】

事業実施後の来街者満足度アンケートにおける「今後も商店街を訪問したい」旨の回答割合：7割以上

【スキーム】

- 総事業費：149,600千円
- 補助率：1/2以内



商店街交流促進事業

商業・雇用支援課

(連絡先：022-214-1004)

令和5年度当初予算額：200千円

基金

事業概要

商店街間のネットワーク強化等を図ることを目的に、市内商店街が実施する最新の活動状況等について情報交換する交流イベント（商店街サミット）の開催支援を行う。

事業の詳細

【対象者】

市内の商店街振興組合、任意の商店会等

【対象経費】

講師謝金、講師旅費、会場借上費等

【開催時の様子】



令和3年度商店街サミット

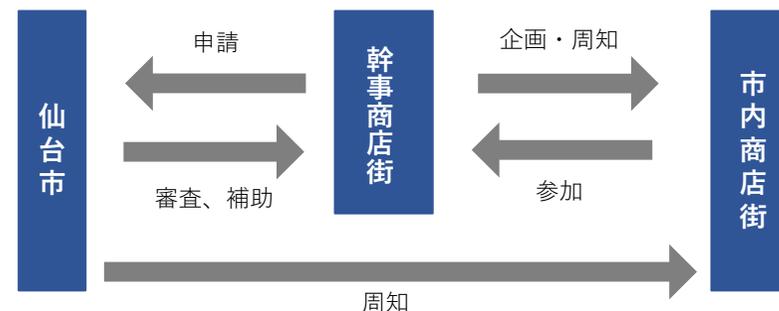


令和4年度商店街サミット

【目標】

参加商店街：10団体以上

【スキーム】



事業概要

商店街や個店のファンづくり、来店者や売り上げの増加につなげるため、「まちゼミ」、「まちバル」、「100円商店街」を実施する商店街に対し広報に要する費用の一部を助成する。

事業の詳細

【対象者】

- 商店街振興組合
 - 地域商業振興を目的とする事業協同組合
 - 規約等で代表者の定めがある任意の商店会
 - 地域商業振興を目的とする一般社団法人
- ※10名以上が近接して事業を営んでおり、主に小売業、サービス業又は飲食業で構成されていること

【対象事業】

まちゼミ	店主が講師となり、自分のお店で、専門知識やプロならではのコツを伝授する少人数制のゼミ。販売をするのではなく、店の特徴や店主の人柄などを知ってもらうことで新規顧客・リピーター獲得に繋げる。
まちバル	ドリンク1杯+おつまみ等のセットを楽しみながら飲食店をはしごする地域活性化と飲食店の集客を目的に実施するグルメイベント。行ってみなかった、知らなかった店に入るきっかけとなり、その後リピーターとなることが期待できる。
100円商店街	商店街全体を1つの100円ショップに見立て、各店舗の店頭にて特色ある・興味を引く100円商品を設置し、支払いを店内ですること、自然とお客様を店内に誘導することができ、店内の商品、雰囲気、店員を知ってもらい、各店と来店者の出会いとファンづくりのきっかけを作る。

【対象経費】

チラシ、ポスター、スタンプラリー台紙及びダイレクトメールの印刷料、コマースの委託料などの宣伝広告費

【助成額】

助成対象経費の3/4以内で30万円を限度とする

【目標】

支援対象団体が実施する参加店アンケートにおける「新規顧客・リピーターの獲得につながった」旨の回答割合：7割以上

事業概要

中心部商店街における来街者増加や回遊性向上につなげるため、外部人材の新たな視点を取り入れた実証実験や人流データの取得・分析結果を活用した施策の検討を行う。

事業の詳細

中心部商店街賑わい創出実証実験事業

【事業内容】

- 仙台市中心部商店街活性化協議会内に、様々な知見や経験を持つ外部の人材も加えた新たな枠組みを創設し、商店街の活性化につながる取り組みを検討する。
- 検討結果に基づいた実証実験を年間を通じて2件実施する。

【目標】

商店街活性化につながる取り組み案作成：4件以上

【スキーム】



中心部商店街データ活用事業

【事業内容】

- 市内イベント実施時の年代、性別、居住地等を含む人流データを取得・分析し、来街者増加・回遊性向上につながる施策の検討につなげる。
- 想定されるデータ活用例
 - ・ 商店街イベントの内容改善、効果検証
 - ・ 商店街の賑わい創出につながる新たな取り組みの立案
 - ・ 商店街及び個店における新たなマーケティング・PR手法の検討

【目標】

人流データ分析結果の活用案作成：3件以上

【スキーム】



組合等活性化研究事業

商業・雇用支援課

(連絡先：022-214-1001)

令和5年度当初予算額：1,257千円

事業概要

商店街や中小企業団体の活性化や次代を担う中小企業者の育成を目的に、研修会や専門家派遣等を実施する。

事業の詳細

【対象者】

以下のいずれかに該当する団体

- 市内の商店街振興組合、任意の商店会等（※）

※近接して事業を営む10名以上で、主に小売業、サービス業又は飲食業で構成される団体

- 仙台市内に主たる組合事務所がある中小企業団体

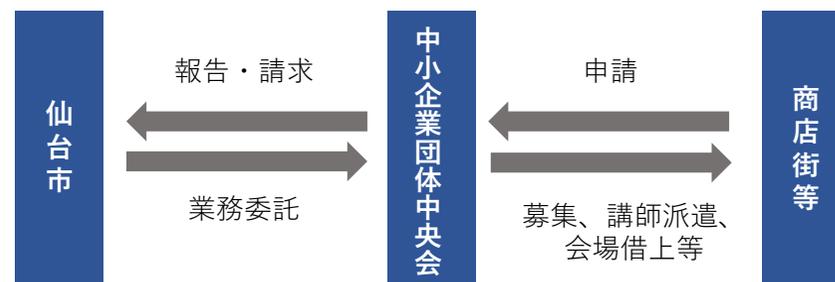
【テーマ例】

- 商店街活性化
- SNSの活用
- 事業継承・後継者対策
- キャッシュレス対応
- 人材育成、人材確保
- 働き方改革 等

【目標】

研修会の出席者アンケートにおける、研修会が「今後の事業活動や商店街・業界の活性化に役立つ」旨の回答割合：8割以上

【スキーム】



施策⑤ 地域に根差した農食ビジネスの推進

- 地域に根差した農食ビジネスの推進

70

事業概要

6次産業化や農商工連携等の新たな取り組みを支援するほか、生産から流通・販売までを見据えたビジネスモデルの構築・実証を行う。また、持続可能な農業に向けた栽培体系の確立を図る。

事業の詳細

6次産業化等チャレンジ支援

【事業内容】

6次産業化や農商工連携等の新たな取り組みについて、商品開発、加工・製造、販売まで一貫した伴走型支援を行う。

【目標】

新商品開発支援の目標件数：3件

【過去の支援事例】



森のはちみつ
(6次産業化)



秋保クラフトシードル
(農商工連携)

農食ビジネスモデル構築

【事業内容】

「今朝採り枝豆」の飲食店提供・量販店販売など、市内農産物の生産から流通・販売までを見据えたビジネスモデルを構築・実証する。

サステナブル農業推進事業

【事業内容】

化学肥料削減による生産コスト低減と環境負荷低減の活動を進めるため、緑肥栽培のモデル実証ほを設置し、栽培体系の確立を図る。

【目標】

実証ほ設置数：3ヶ所



緑肥作物とすき込みの様子